

1.95 ~ 5.85GHz帯

RF 伝搬路シミュレータ

CODEC

製品の特徴



前面



背面

高速、高分解能の Pin ダイオードアッテネータを複数個使用し、1 対多接続が可能な RF 伝搬路シミュレータです。

1 対多接続が可能で、それぞれに対してアッテネータプロファイルを設定できるのでさまざまな屋内試験が可能です。

アッテネータプロファイルは PC にて任意に作成でき、シミュレータ内部のメモリに保存しておくことで、リアルタイムにプロファイルパターンを実行することができます。

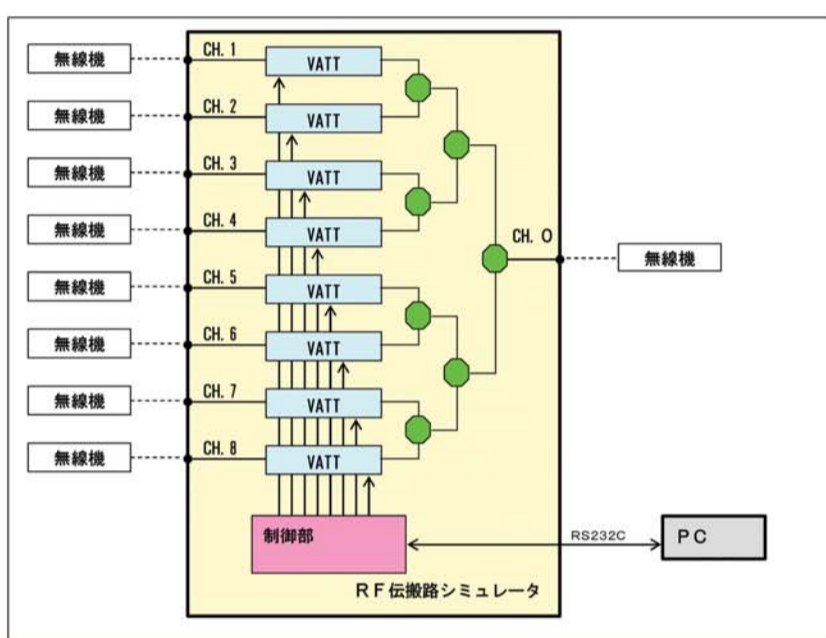
また、アッテネータプロファイルはオーバーラップさせることが可能です。

応用例としては、

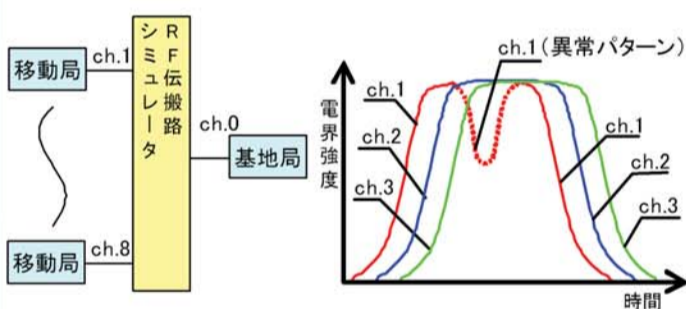
- ① 複数移動局対基地局の通信試験
- ② ハンドオーバー（複数基地局対移動局）の通信試験
- ③ 干渉波実験
- ④ 簡単なマルチパス時の通信試験（フェージング試験）が可能です。

- 最大 1 対 8 接続が可能です。（予算に応じて 1 対 1 ~ 7 タイプもご用意できます。）
- アッテネーションレンジ 64dB、アッテネーションステップ 0.03dB（標準 0.1dB）
- アッテネータプロファイルは時間分解能 10msec、最大ステップ数 20000 が標準です。（カスタマイズ仕様としては、時間分解能 1 μ sec、最大ステップ数任意までご相談にのれます。）
- アッテネータプロファイルは自動的に繰り返し実行が可能ですので、エージング試験にも対応できます。
- アッテネータプロファイルデータ生成プログラムのカスタマイズも請け負います。

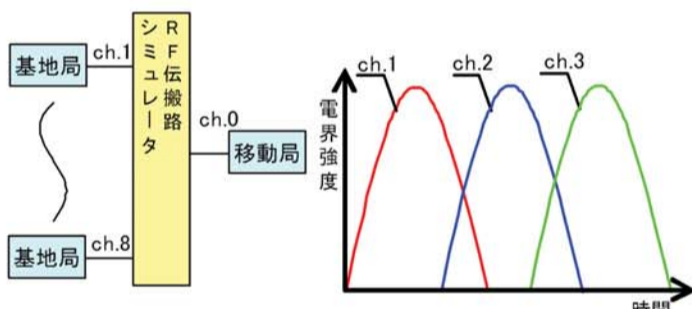
■ ブロック図



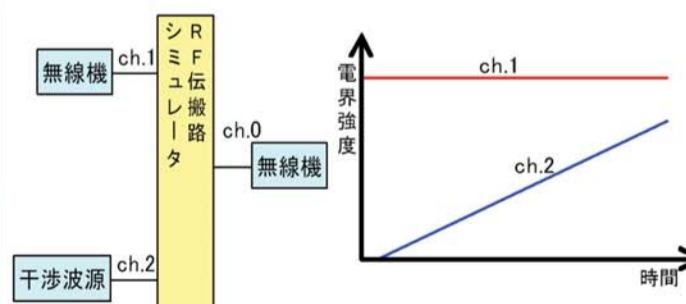
■ 応用例① 複数移動局対基地局の通信試験



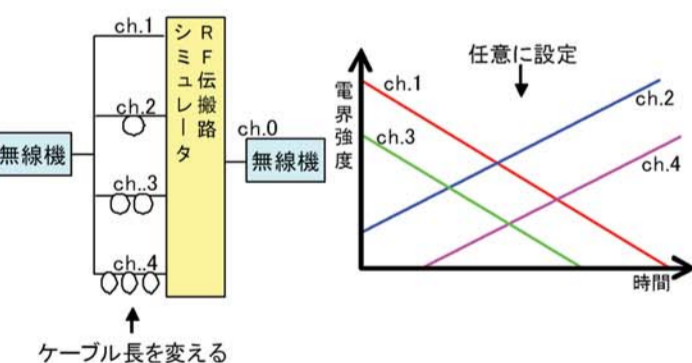
■ 応用例② ハンドオーバー（複数基地局対移動局）の通信試験



■ 応用例③ 干渉波実験



■ 応用例④ 簡単なマルチパス時の通信試験（フェージング試験）



アッテネータ特性

周波数レンジ(GHz)	1.95~5.85
インサージョンロス(dB)	2.1max
VSWR	2.1max
アッテネーションレンジ(dB)	64
アッテネーションステップ(dB)	0.03 (標準0.1)

装置特性

項目	仕様	備考
許容入力電力容量	10dBm	約10mW
インサージョンロス	最大 20dB	
RF減衰範囲	最大 64dB	
シーケンス機能	分解能 10mS~500mS 10mS刻み 最大ステップ数 20000	カスタマイズ仕様 分解能 1 μ sec 最大ステップ数任意
RF インタフェース	SMA	
操作インタフェース	PC接続用 DSUB 9ピンコネクタ パイロットランプ 6セグメントバーLEDx8	プロトコルは、 ソフト仕様による
外形寸法	430(W)×125(H)×250(D)mm	
装置重量	10Kg程度	
電源	AC100V 消費電力 最大30W	3芯ケーブル
動作温度	15-35℃	
動作湿度	20%-85%(結露のないこと)	

お問い合わせ... TEL : 044-986-3100 E-mail : office@codec.co.jp